



環境会計

※)環境会計は「環境保全コスト」と「環境効果」で構成されます。

福井大学では平成15年度において、環境保全コストであげる金額を、環境関連のものとして投資しています。結果、直接的、間接的な影響により発生した環境保全効果の中で、もっとも効果をもたらしたものとしては、水使用量の削減があげられます。CO₂排出量が増加しているのは、全体的な電力使用量の増加が原因しているためと思われます。



環境保全コスト

本学で、環境負荷削減に向けて実行されたものと、そのコストは以下のとおりになります。

分 類	投資額(千円)	目標とする効果
トイレの擬音装置	290	地下水使用量の削減
自動消灯装置の導入	4,500	電気使用量の削減
両面プリンター購入促進	783	紙使用量の削減
事務経費	793	
合 計	6,366	

(注)事務経費の中に人件費は含んでいません。



環境効果

環境効果には、環境保全効果と企業内(大学内)経済効果があります。環境保全効果は、前年度比で以下のとおりですが、企業内経済効果は算出が困難で、今後の課題となっています。

環境保全効果	削減量
	(kg)
CO ₂ 排出量(※1)	△ 4,542
NO _x 排出量(ボイラより)	411
SO _x 排出量(ボイラより)	△ 611
水使用量	4,718,000



金額換算値
(円)
△ 42,920
27,250
△ 30,640
169,840
合計 123,530

(注)※1:金額換算化係数は日本で各環境負荷加重1トンを抑制するための費用により設定。

CO₂=9,450円/トン(京都議定書の目標達成のためのCO₂排出抑制費用、環境省試算値)

NO_x=66,315円/トン、SO_x=50,159円/トン、地下水=36円/トン(過去の環境負荷抑制の費用の推算値より設定「環境・経済統合勘定」の研究成果参照)

環境保全コスト

福井大学において、平成16年度に環境負荷削減や環境配慮の取り組みの中で要したコスト(環境保全コスト)は以下のとおりとなります。この中には、学内外で行った環境配慮のためのシンポジウムやセミナーに要した経費も記載します。

分 類	費用(千円)	キャンパス	目標とする評価
分別用ゴミ箱、ゴミ袋など	1,765	文京	ゴミ分別による再資源化
自動消灯装置の導入	845	文京	電気使用量の削減
両面プリンター購入促進	450	文京	紙使用量の削減
シンポジウムなどの経費	622	文京、松岡	環境活動の浸透
合 計	3,682		

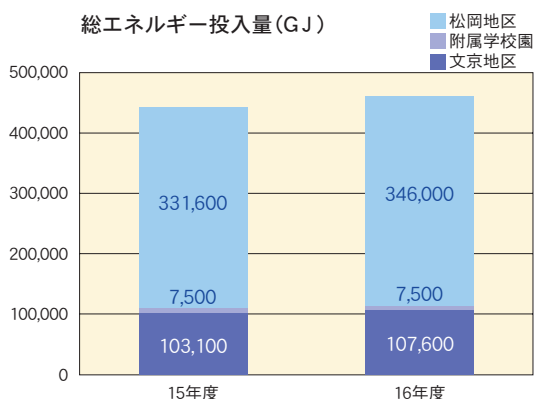
(注)環境ISO用経費、事務経費、人件費は含んでいません。

活動に伴う環境負荷

福井大学の活動に伴う環境負荷の主なものとしては、エネルギー消費に伴うもの、教育・研究による化学物質の使用により排出されるもの、医療活動などに伴い排出されるものが考えられます。ここでは、松岡、文京両キャンパスと附属学校園を含めた、全学的なこれらの負荷の状況について、以下に示します。

総エネルギー投入量

総エネルギー投入量は、電力、化石燃料などの使用量により算出します。福井大学でも、大学との契約により購入している電力、重油、灯油、軽油、ガソリン、燃料用ガスよりこの数値を算出しています。その結果、附属学校園は殆ど横ばいながら、文京、松岡の両地区とも増加しています。



平成15年度：442千GJ



平成16年度：461千GJ^{※1}

約4.3%の増加

461千GJは、原油にしてドラム缶約6万本分に相当します。

(※1：省エネ法施行規則などより算定)

環境保全コストと評価

平成17年度、福井大学において環境ISOや工事などをおして行った環境配慮の取り組みに要したコストは以下のようになっています。

	項 目	費用(千円)	目的
文京	ゴミ分別・学内美化	194	廃棄物の削減
	人感センサーなどの導入	3,060	電力使用量の削減
松岡	ゴミ分別・学内美化	367	廃棄物排出量削減
	人感センサーなどの導入	1,485	電力使用量の削減
	便所消音装置などの導入	1,068	水道水使用の削減
	広報等に要した経費	1,057	情報公開
	合 計	7,231	

文京キャンパスでは工学部校舎の改修に伴い、実験室を含む工事範囲の全ての室に人感センサーを設置し、照明及び空調等を連動させ、効率的に運用できるようにしました。また、松岡キャンパスでは便所の照明用人感センサーの設置と消音装置の設置を行いました。そのほかにゴミの分別を促進するための器具や環境美化を進めるための物品購入を行いました。広報などの経費には昨年度作成した環境報告書やパンフレット、学内外への環境ISO活動浸透のためのセミナーなどの費用も含まれています。

人感センサーや消音装置などの設置による効果の、具体的な数値は把握していませんが、消音装置の場合、1回分の洗浄水は約13リットル要するため、今回設置した89箇所ですべて5回の洗浄を抑制できたとすると年間2,000トンを上回る節水効果となります。

上記の取り組みや、環境ISOなどによる取り組みによって及ぼされる直接的な効果は、おおよそ以下のような金額になると試算しています。直接的な効果とは、取り組みによって減額されたと考えられる具体的金額を示すもので、抑制に伴い環境に与えた効果といったものは含みません。

平成17年度の効果の計は約1,600万円となっています。今後も省資源の徹底や、学内より排出される廃棄物に関して積極的に見直しをはかり、排出と支出の抑制を進めていきます。

環境保全効果(平成17年度)

(単位:千円)

項 目	合 計
省光熱水量による費用削減額	11,892
リサイクルによる廃棄物処理費用削減額	710
リユース推進に伴う費用削減額	3,000
紙の節約・両面使用による費用削減額	456
合 計	16,058

※) 本学の試算による。

12 環境保全コストと評価

福井大学での環境ISO活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

● 環境保全コスト(職員の人件費を除く)

環境保全コスト分類		費用(千円)	環境ISOによる目的・目標
主な取り組み内容		06年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	700	廃棄物の削減
	学内環境美化のコスト		
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	1,800	電力使用量の削減
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	1,700	廃棄物排出量の削減
	学内環境美化のコスト		
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	300	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		1,300	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		1,700	
環境教育などのコスト		700	
法規制順守のための点検コスト		200	
合 計		8,400	

● 環境保全効果

主な環境保全効果	(単位: 千円)	
	05年度	06年度
省光熱水量による削減効果	11,900	38,200
廃棄物リサイクルによる削減効果	700	700
備品のリユース推進による削減効果	3,000	32,000
コピー用紙節約・裏面使用による削減効果	400	600
合 計	16,000	71,500

※ 本学の試算による。

● 環境保全コスト

福井大学で取り組んでいる環境ISOの環境方針に基づいた目的及び目標の実現に向けたコストとなります。

● 環境保全効果

福井大学での環境保全効果は主に、光熱水量の節約効果と廃棄物のリサイクルによる効果など、環境保全活動によって減額されたと考えられる直接的な効果を具体的金額で示すものであり、環境に与える影響の抑制に伴う効果は含まれておりません。照明用人体感センサーの設置やトイレ用消音装置の設置など省エネや節水を目的とした設備を導入による効果となります。また、紙の裏面利用による節約や廃棄物となるものをリサイクルやリユースによる効果となります。

column 7

環境保全コストとは？

環境保全活動に係る諸経費、人件費など。

環境保全効果とは？

省エネの取り組みや資源の節約による費用など直接的に金額で把握できる効果と、温室効果ガス削減量や省エネ商品による節電金額など直接的に金額で表示できないものを金額換算した効果。

環境会計とは？

環境会計とは、企業等が、持続可能な発展を目指して、社会との良好な関係を保ちつつ、環境保全への取組を効率的かつ効果的に推進していくことを目的として、事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位又は物量単位)に測定し伝達する仕組みです。

12 環境保全コストと評価

福井大学での環境ISO活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

● 環境保全コスト

環境保全コスト分類		費用(千円)		環境ISOによる目的・目標
主な取り組み内容		06年度	07年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	700	300	廃棄物排出量の削減
	学内環境美化のコスト			
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	1,800	2,000	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	1,700	900	廃棄物排出量の削減
	学内環境美化のコスト			
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	300	1,300	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		1,300	1,000	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		1,700	1,400	
環境教育などのコスト		700	1,000	
法規制順守のための点検コスト		200	400	
合 計		8,400	8,300	

福井大学で取り組んでいる環境ISOの環境方針に基づいた目的及び目標の実現に向けたコストとなります。

● 環境保全効果

主な環境保全効果	(単位：千円)	備 考
	07年度	
上下水道量による削減効果	6,000	前年比
古紙リサイクルによる処理費用削減効果 ^{*1}	700	07年度実績
リユース(学内リサイクル)推進による削減効果 ^{*2}	24,000	07年度実績
合 計	30,700	

*1：段ボール・古新聞・雑誌・ミックス紙等の処理費用の削減から得られた効果(05年との比較)

*2：使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

福井大学での環境保全効果は主に、光熱水量(今回は上下水道量についてのみ記載)の節約効果と廃棄物のリサイクルによる効果など、環境保全活動によって減額されたと考えられる直接的な効果を具体的金額で示すものであり、環境に与える影響の抑制に伴う効果は含まれておりません。

光熱量(エネルギー)削減効果は、照明設備用人体感センサーの設置やトイレ用消音装置の設置など省エネを目的とした設備を導入したことによる効果となります。また、紙の裏面利用による節約や廃棄物となるものをリサイクルやリユースしたものが削減効果になります。07年度は、気候要因(夏の猛暑、冬の厳寒)や業務の活性化等による紙の増加により打ち消されて、光熱量(エネルギー)や事務用紙における削減効果は認められませんでした。

12 環境保全コストと評価

福井大学での環境ISO活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

● 環境保全コスト

環境保全コスト分類		費用(千円)		環境ISOによる目的・目標
主な取り組み内容		07年度	08年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	300	廃棄物の削減
	学内環境美化のコスト			
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	2,000	500	電力使用量の削減 地下水の汲み上げ
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	900	300	廃棄物排出量の削減
	学内環境美化のコスト			学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	1,300	2,300	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		1,000	400	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		1,400	2,500	
環境教育などのコスト		1,000	700	
法規制順守のための点検コスト		400	1,000	
合 計		8,300	8,000	

福井大学で取り組んでいる環境ISOの環境方針に基づいた目的及び目標の実現に向けたコストとなります。

● 環境保全効果

主な環境保全効果	(単位: 千円)	備 考
	08年度	
上下水道量による削減効果	10,000	前年比
省エネルギーによる削減効果	33,000	前年比
コピー用紙節約・裏面使用による削減効果	265	前年比
古紙・ダンボールの回収による削減効果	79	08年度実績
リユース推進による削減効果 ^{※1}	24,000	08年度実績
合 計	67,344	

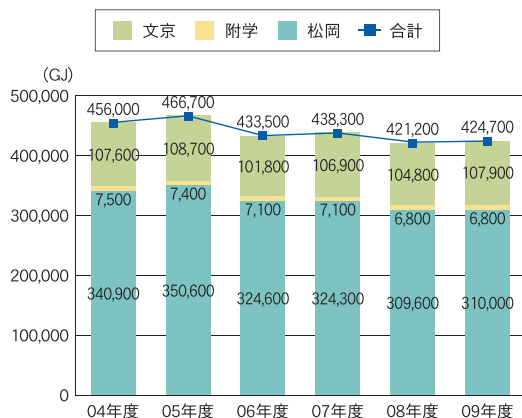
※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

福井大学での環境保全効果は主に、光熱水料(上下水道料・省エネルギー料について記載)の節約効果と廃棄物のリサイクルによる効果など、環境保全活動によって減額されたと考えられる直接的な効果を具体的金額で示すものであり、環境に与える影響の抑制に伴う効果は含まれておりません。

光熱水料は、建物の改修工事でのペアガラスの更新や断熱材の施工、照明用人感センサーの設置や省エネ型照明器具等への設置など省エネや節水を目的とした設備を導入による効果となります。また、紙の裏面利用による節約や廃棄物となるものをリサイクルやリユースによる効果となります。

13 環境負荷の推移

1 総エネルギー投入量 (GJ)



● 09年度 各キャンパスの総エネルギー投入量実績

文京キャンパス	前年度比	約2.8% (3,100GJ)	増加
附属学校園	前年度比	約0.0% (0GJ)	同率
松岡キャンパス	前年度比	約0.1% (400GJ)	増加
全キャンパス	前年度比	約0.8% (3,500GJ)	増加

● 増加要因について

09年度のエネルギー使用量は前年度に比べて全体で3500GJと僅かに増加しました。これは、建物の増改築工事が行われたためだと考えられます。文京キャンパスでは総合図書館及び総合研究棟Vの改修が、松岡キャンパスでは、臨床教育研修センター及びはなみずき保育園が新築され、電気使用量が増加しましたが、これらの新施設は次世代を担う人材の育成および研究の推進のためには必要なものであると考えています。また、その他増加要因として冬期の冷え込みが厳しく、暖房運転時間が増えたことが考えられます。

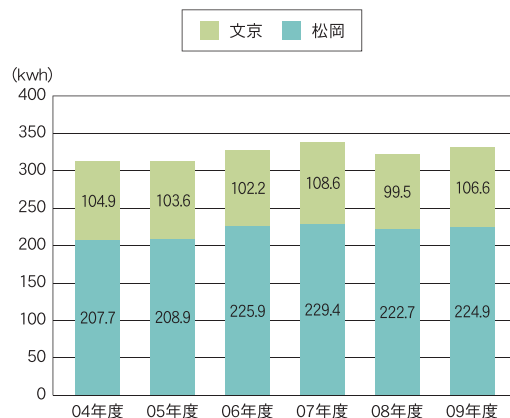
● 10年度の目標・計画

省エネ法に適合したエネルギー管理標準と地球温暖化対策推進計画に基づき、エネルギー管理を適切に実行して省エネに努めます。

● 10年度の課題

蒸気暖房から電気式の空調に移行したことで、重油使用量は抑えられますが、電力使用量が増加するため、その抑制が課題となると考えられます。昨年度に引き続き、教職員や学生へ省エネルギーの意識向上を呼びかけることが必要であると考えられます。

2 電気使用量 (kwh/m²)



※各キャンパスの消費量をそれぞれの総面積で除した値を用いています。

● 09年度 各キャンパスの電気使用量 (kwh/m²)

文京キャンパス	前年度比	約7.1% (7.1kwh)	増加
松岡キャンパス	前年度比	約1.0% (2.2kwh)	増加
全キャンパス	前年度比	約2.9% (9.3kwh)	増加

● 増加要因について

電気使用量は、08年度と比較すると文京キャンパスでは増加しました。その要因としてまず教育地域科学部1号館東棟及び総合図書館の増改築工事に伴い延床面積が増えたために電気使用量が増加したことが考えられます。また、冷暖房の熱源を重油から電気に切り替えたことも増加要因と考えています。

また、松岡キャンパスでも昨年度と比較すると増加しており、増築された臨床教育研修センター及びはなみずき保育園において冷暖房機器はCO₂削減のため全て電気式を採用したことで増加したものと考えられます。

今後は、快適な教育環境を考慮しながら教職員が一丸となって電気使用量の削減運動を進めていきたいと考えています。

12 環境保全コストと効果

環境ISO活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

● 環境保全活動にかかるコスト

環境保全コスト分類		費用(千円)		環境ISOによる目的・目標
主な取り組み内容		08年度	09年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	2,000	廃棄物の削減
	学内美化のコスト			
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	500	100	電力使用量の削減 地下水の汲み上げ
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	1,200	廃棄物の削減 学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	2,300	700	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		400	450	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		2,500	2,000	
環境教育などのコスト		700	1,000	
法規制遵守のための点検コスト		1,000	250	
合 計		8,000	7,700	

● 環境保全活動による効果

主な環境保全効果	(単位：千円)	備 考
	09年度	
上下水道による削減	7,500	前年比
省エネルギー活動による削減	10,000	前年比
コピー用紙節約・裏面使用による削減	1,400	前年比
古紙・ダンボールの回収による効果	79	09年度実績
リユース推進による効果※1	18,000	09年度実績
合 計	36,979	

※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

環境保全活動にかかるコストは、主に廃棄物適正処理や学内環境美化運動、エネルギーや水道使用量削減のためのコストなど環境ISOの目的・目標に関連した内容の取り組みを掲載しました。またその効果として、主に光熱水料による節約効果や古紙、段ボール類などの資源リサイクルと学内で再利用された物品のリサイクルによる削減効果を掲載しました。

このように環境保全活動にかかるコストとその効果を金額で具体的に把握することで、教職員及び学生の今後の環境保全活動のモチベーションに繋げ、より効率的な環境活動を模索していきたいと考えています。

12 環境保全コストと効果

福井大学での環境ISO活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

● 環境保全活動にかかるコスト

環境保全コスト分類		費用(千円)		環境ISOによる目的・目標
主な取り組み内容		2009年度	2010年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	720	廃棄物の削減
	学内美化のコスト			
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	500	1,870	電力使用量の削減
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	1,230	廃棄物の削減
				学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	2,300	10	電力使用量の削減
				水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		450	490	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		2,000	2,560	
環境教育などのコスト		1,000	170	
法規制遵守のための点検コスト		250	200	
合 計		7,700	7,250	

● 環境保全活動による効果

主な環境保全効果	(単位：千円)	備 考
	2010年度	
古紙・ダンボールの回収による効果	73	2010年度実績
リユース推進による効果※1	49,000	2010年度実績
合 計	49,073	

※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果（新品で購入した場合の価格）

環境保全活動にかかるコストは、主に廃棄物適正処理や学内環境美化運動、エネルギーや水道使用量削減のためのコストなど環境ISOの目的・目標に関連した内容の取り組みを掲載しました。特に2010年度は、エネルギー消費量の削減に効果の大きい断熱サッシュ取付を実施しました。本学は、2003年に環境ISO認証取得直後の数年は、大きな効果を生み出してきておりましたが、近年はその効果（数値の減少率）にそれ程目を見張るものではありません。そんな中、2010年度は酷暑寒冬が続いたため、光熱水料（上下水道料金・エネルギー使用料金）における節約効果自体を得ることができませんでした。主な効果としては、古紙・ダンボール類などの資源リサイクルと物品の再利用による削減効果を掲載しました。

本年度も環境保全活動にかかるコストとその効果を金額で具体的に把握することで、教職員及び学生の今後の環境保全活動のモチベーションに繋げ、より効率的な環境活動を模索していきたいと考えています。

11 環境保全コストと効果

福井大学での環境 ISO 活動による環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

●環境保全活動にかかるコスト

環境保全コスト分類		費用(千円)			環境ISOによる 目的・目標
主な取り組み内容		2009年度	2010年度	2011年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト 学内美化のコスト	300	720	942	廃棄物の削減
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	500	1,870	1,136	電力使用量の削減 地下水の汲み上げ
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	300	1,230	177	廃棄物の削減 学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	2,300	10	454	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		450	490	595	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		2,000	2,560	2,632	
環境教育などのコスト		1,000	170	249	
法規制遵守のための点検コスト		250	200	49	
合 計		7,700	7,250	6,234	

●環境保全活動による効果

主な環境保全効果	2011 年度の環境保全効果(千円)
上下水道による削減	2,319
古紙・段ボール類の回収による収益	83
リユース推進実績(試算) ^{※1}	19,997
合 計	27,017

※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

環境保全活動にかかるコストは、環境 ISO の目的・目標に関連した内容の取組(主に廃棄物適正処理や学内環境美化運動、エネルギーや水道使用量削減)を掲載しました。またその効果として、主に光熱水量による節約効果(特に断熱効果の大きい二重サッシ取替による)や古紙、段ボールといった資源リサイクルと学内で再利用された物品のリサイクルによる削減効果を掲載しています。

このように環境保全活動にかかるコストとその効果を金額で具体的に把握することで、教職員及び学生の今後の環境保全活動のモチベーションにつなげ、より効率的な環境活動を模索していきたいと考えています。

コラム 福井大学附属幼稚園・小学校教育徒の作品 vol.4



11 環境保全コストと効果

福井大学での環境 ISO 活動や施設整備など環境保全のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。

■環境保全活動にかかるコスト

環境保全コスト分類		費用(千円)			環境ISOによる 目的・目標
主な取り組み内容		2010年度	2011年度	2012年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	720	942	609	廃棄物の削減
	学内美化のコスト				電力使用量の削減 地下水の汲み上げ
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	1,230	177	439	廃棄物の削減 学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト				電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		490	595	789	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		2,560	2,632	1,342	
環境教育などのコスト		170	249	388	
法規制遵守のための点検コスト		200	49	129	
合 計		7,250	6,234	6,185	

■環境保全活動による効果

主な環境保全効果	2012 年度の環境保全効果(千円)
上下水道による削減	480
エネルギー使用料金(電気料金+重油料金)の前年度との差額	25,200
古紙・段ボール類の回収による収益	79
リユース推進実績(試算)※1	16,376
合 計	42,135

※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

環境保全活動にかかるコストは、環境 ISO の目的・目標に関連した内容の取組(主に廃棄物適正処理や学内環境美化運動、エネルギーや水道使用量削減)を掲載しました。またその効果として、主に光熱水量による節約効果(特に断熱効果の大きい二重サッシ取替による)や古紙、段ボールといった資源リサイクルと学内で再利用された物品のリサイクルによる削減効果を掲載しています。

このように環境保全活動にかかるコストとその効果を金額で具体的に把握することで、教職員及び学生の今後の環境保全活動のモチベーションにつなげ、より効率的な環境活動を模索していきたいと考えています。

ただし、建物の新築や改修に伴って行った省エネ対策費は含まれていません。

コラム 福井大学附属幼稚園・中学校生徒の作品 vol.3



11 環境保全コストと効果

福井大学での環境ISO活動を中心とした環境保全活動のために投じた費用と、その活動によって得られた効果を会計面で評価しています。(ただし、建物の新築、改修工事や環境整備工事に伴って行った省エネ施策や環境保全対策は含まれません。)

■環境保全活動にかかるコスト

環境保全コスト分類		費用(千円)			環境ISOによる 目的・目標
主な取り組み内容		2011年度	2012年度	2013年度	
文京	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	942	609	1,335	廃棄物の削減
	学内美化のコスト				
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	1,136	1,023	777	電力使用量の削減 地下水の汲み上げ
松岡	廃棄物適性処理、リサイクルなどのコスト	177	439	612	廃棄物の削減 学内美化
	エネルギー、水道使用量削減のためのコスト	454	1,466	1,554	電力使用量の削減 水道水使用量の削減
環境情報の公表及び環境広告のためのコスト		595	789	549	情報公開
EMS運用、整備のためのコスト		2,632	1,342	1,341	
環境教育などのコスト		249	388	225	
法規制遵守のための点検コスト		49	129	462	
合 計		6,234	6,185	6,855	

■環境保全活動による効果

主な環境保全効果	2013年度の環境保全効果(千円)
古紙・段ボール類の回収による収益	80
リユース推進実績(試算) ^{※1}	21,500
合 計	21,580

※1 使用しなくなった品物を再利用することによって得られる効果(新品で購入した場合の価格)

環境保全活動にかかるコストは、環境ISOの目的・目標に関連した内容の取組(主に廃棄物適正処理や学内環境美化運動、エネルギーや水道使用量削減)を掲載しました。またその効果として、主に古紙、段ボールといった資源リサイクルと学内で再利用された物品のリサイクルによる削減効果を掲載しています。

このように環境保全活動にかかるコストとその効果を金額で具体的に把握することで、教職員及び学生の今後の環境保全活動のモチベーションにつなげ、より効率的な環境活動を模索していきたいと考えています。

コラム

福井の名水

小浜市・若狭町

小浜市 鵜の瀬【うのせ】

鵜にゆうがわ

鵜の瀬は遠敷川の中流に存在します。毎年3月2日に東大寺二月堂の若狭井に香水を送る神事「お水送り」があることで有名です。周辺は公園として整備されています。またこの水はミネラルウォーターとして販売されています。

アクセス方法 舞鶴若狭自動車道小浜西ICから国道27号線を小浜方面へ20分。

